

K&W

第70号

神奈川と溶接

KNG WES 一般社団法人
神奈川県溶接協会〒210-0001 川崎市川崎区本町2-11-19
TEL 044-233-8367 fax 044-246-5265
E-mail: contact@kngwes.or.jp
web: https://www.kngwes.or.jp/index.html

2023年度 第68回全国溶接技術競技会開催

溶接技量の日本一を競う2023年度 第68回全国溶接技術競技会が、2023年11月11日(土)・12日(日)の2日間に渡り開催されました。

競技要領等説明会および開会式を11日にクラフトシビックホール土浦、競技会を12日に茨城県稲敷郡阿見町の日立建機(株)霞ヶ浦総合研修所にて開催となりました。

主催：(一社)日本溶接協会 / 東部地区溶接協会連絡会 / (一社)茨城県溶接協会

全国の都道府県大会を勝ち抜いた代表選手が技量日本一を目指し、被覆アーク溶接の部56名、炭酸ガスアーク溶接の部56名の合計112名にて、技を競いました。

神奈川県代表は2023年度神奈川県溶接技術コンクールの各溶接部門でそれぞれ1位2位を獲得した、下記4名の選手が出場されました。

＜被覆アーク溶接の部＞

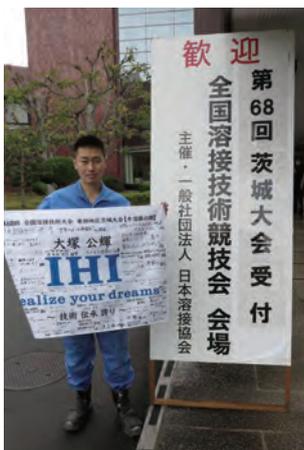
神奈川県大会1位 大塚 公輝 選手 (株)IHI横浜工場
神奈川県大会2位 伊藤 文孝 選手 コベルコ溶接テクノ(株)

＜炭酸ガスアーク溶接の部＞

神奈川県大会1位 浅海 大輝 選手 ジャパンマリノユニテッド(株)
神奈川県大会2位 青山 正人 選手 (株)総合車両製作所



《桜》写真は川崎にて撮影

大塚 公輝 選手
(株)IHI横浜工場伊藤 文孝 選手
コベルコ溶接テクノ(株)浅海 大輝 選手
ジャパンマリノユニテッド(株)青山 正人 選手
(株)総合車両製作所

神奈川県代表の選手は、被覆アーク溶接部門で(株)IHIの大塚公輝選手、炭酸ガスアーク溶接の部で(株)総合車両製作所の青山正人選手が、それぞれ優秀賞を受賞されました。なお、優勝選手は下記の通りです。

- ・被覆アーク溶接の部 兵庫県代表 石井 智裕 (株)タニキカン
- ・炭酸ガスアーク溶接の部 愛知県代表 安田 将貴 (株)豊田自動織機

次回、第69回大会は2024年10月27日(日) 高知県高知市の高知ぢばさんセンターおよび高知県立地域職業訓練センターにて開催されます。

2024年度第67回神奈川県溶接技術コンクール 開催

2024年3月22日(金)に、(一財)日本溶接技術センターにおいて第67回神奈川県溶接技術コンクールを開催しました。

今回は37名(被覆アーク溶接13名、炭酸ガスアーク溶接24名)の選手が参加しお互いの腕前や技量を競い合いました。新型コロナ対策も終わりをつげ、本年は4年振りに開会式も執り行われ、開会時に参加者全員が揃う活気ある大会となりました。



なお、外観審査はコンクール当日に行い、後日、X線審査、曲げ試験審査および最終審査を行い総合順位が決定します。

総合順位で被覆アーク溶接上位2名、炭酸ガスアーク溶接上位2名の計4名が、2024年10月26日(土)、27日(日)に高知県で開催される第69回全国溶接技術競技会の神奈川県代表選手として推薦されます。

※第67回神奈川県溶接技術コンクールの結果および総合順位は次号で報告します。

<コンクール概要>

- ・主催 神奈川県、一般社団法人神奈川県溶接協会
- ・開催期日 2024年3月22日(金)
- ・会場 (一財)日本溶接技術センター
- ・参加事業所 15事業所 37名

被覆アーク溶接の部： 8事業所 13名	人数 (人)
企業名 (あいうえお順)	
(株)IHI横浜工場	1
コベルコ溶接テクノ(株)CS推進部CSグループ	1
コベルコ溶接テクノ(株)ソリューション技術部開発試験室	2
JFEエンジニアリング(株)PL事業部	2
(株)総合車両製作所	1
東芝エネルギーシステムズ(株)京浜事業所	2
富士電機(株)	2
三菱重工業(株) 相模原製作所	2

半自動用溶接の部： 11事業所 24名	人数 (人)
企業名 (あいうえお順)	
コベルコ溶接テクノ(株)CS推進部CSグループ	1
コベルコ溶接テクノ(株)ソリューション技術部開発試験室	2
JFEエンジニアリング(株)鶴見製作所	3
ジャパンマリンユナイテッド(株)横浜事業所	3
住友重機械マリンエンジニアリング(株)	3
(株)総合車両製作所	3
東芝エネルギーシステムズ(株)京浜事業所	2
東芝エネルギーシステムズ(株)浜川崎工場	1
日産自動車(株)	3
富士電機(株)	1
三菱重工業(株) 相模原製作所	2

第23回高校生ものづくりコンテスト全国大会 溶接競技部門 (公開競技)

2023年11月11日(土)、12日(日)に愛知県名古屋市において、第23回高校生ものづくりコンテスト全国大会が開催され、出場選手は全国地区代表9名と開催地枠選出1名の合計10名で、日頃の練習成果を競いました。

競技は、溶接技能者評価試験の「N-2F」に準じて、被覆アーク溶接、中板の裏当て金なし下向き突合せ継手の溶接で、審査方法は外観試験および超音波探傷試験にて判定が行われました。

今回、神奈川県大会および関東甲信越大会を勝ち抜いて関東ブロックの代表権を獲得した、神奈川県立向の岡工業高校の松本春輝さんが出場し、大会2位の成績を収めました。同校は前年大会に続き、2年連続での準優勝となりました。松本さんは前号機関誌にて「8月の新居浜大会で60Hzに対応しきれなかったのが、ものづくりコンテストでもう一度リベンジしたい」とコメントしておられました。優勝とはなりませんでしたが、立派な成績をおさめられました。

見学会実施報告

2024年2月16日(金)、2月らしく空気の冷たい中、新型コロナウイルスの影響により2020年より中止していた見学会を4年ぶりに開催いたしました。久しぶりの開催という事もあり、当初、定員40名を予定しておりましたが多数の申込みを頂き50名での開催となりました。今回の見学先は、JFEエンジニアリング(株)鶴見製作所様、富士電機(株)川崎工場様の2社にご協力を頂き、午前、午後と2つの事業所を見学しました。

JFEエンジニアリング(株)様からは自社工場のDX取組紹介をはじめ、工場内を見学させて頂きました。DX取組では、IoT、RPA、AIなどに関連した事例のほか、Microsoft Power Platformによる自作ローコードアプリの活用例の紹介があり、業務の効率化が実現できたとのこと。今後も、作業者が日常感じる



身近な改善要望を大事にした”小さなDX”をテーマとして取り組んでいきたいとのことでした。工場見学では、シールドマシン、蒸気タービン、ディーゼルエンジンなどの製缶、機械加工、組立に関わるエリアをはじめ、水道鋼管ラインや、金属積層造形機の他、技能伝承の要となる溶接訓練場などを見学させて頂きました。

富士電機(株)様からは会社紹介及び田辺工場、白石工場を見学させて頂きました。田辺工場は100周年、白石工場は20周年を迎え、記念すべき時に見学をさせて頂きました。工場見学は、先ず白石地区と田辺地区を繋ぐ陸橋があり敷地の広さに驚かされました。白石工場からはタービン、タービン発電機の製造工程を見学させて頂きました。タービンロータの溝加工は、クリスマスツリーのように加工されることから通称クリスマスツリーと呼ばれていました。機械加工や組み立てなど、mm単位での精度が求められ、ロータがケーシングに収まらないと組立直しをしなければならない製造の難しさや、mm単位での調整をする技術力やモノづくり力の高さを目の当たりにしました。田辺工場からは大型製缶場や焼鈍炉、ブラスト設備を見学させて頂きました。また、製造した完成品を海上輸送できる出荷可能な港まで備えている設備の充実さに目を見張りました。今回の見学会に参加された方々は、製作途中の製品や製造設備など楽しそうに見学しておられました。なかには、普段扱っている製品と大きさや規模が違ふと興味をしめされている方々もおられました。

特に最近注目を集めているDX・IoT紹介に興味を示している方が多く、紹介に使用した資料を頂きたいという声もありましたが、社外秘のため問合せに応えることができず、この場を借りてお詫び申し上げます。

アンケート結果からも、見学について「非常に良い」や「有意義であった」など多数の回答を頂き好評であったことが伺えました。最後に、この見学会開催にあたり、JFEエンジニアリング(株)様、富士電機(株)様には多大なるご協力をして頂きありがとうございました。改めて厚く御礼申し上げます。

第15回 神奈川県高校生溶接コンクール 開催

2024年1月20日(土)に(一財)日本溶接技術センターにおいて、第15回神奈川県高校生溶接コンクールを開催しました。このコンクールは、日本のものづくりを支える溶接技能の普及・啓発を図り、製造業の若き担い手育成を支援する目的で開催するものです。この大会の優勝者および準優勝者は、2024年4月27日(土)に(一社)日本溶接協会溶接技術中央検定場にて開催予定の、第14回関東甲信越高校生溶接コンクールおよび第24回高校生ものづくりコンテスト関東ブロック予選大会の神奈川県代表選手になります。参加者6校14名(内2名が当日病欠欠席のため、参加者は下記の12名となりました。)

(県立川崎工科：2名、県立向の岡工業：3名、県立神奈川工業：2名、県立平塚工科：3名、県立藤沢工科：1名、県立海洋科学：1名 ※いずれも高等学校を省略表記)

<コンクール結果>

優勝 松本 春輝 (県立向の岡工業高等学校)
2位 野口 竜聖 (県立平塚工科高等学校)
3位 今村 透生 (県立神奈川工業高等学校)
4位 中澤 咲成 (県立向の岡工業高等学校)

<関東甲信越高校生溶接コンクール神奈川県代表選手>

野口 竜聖 (県立平塚工科高等学校)
今村 透生 (県立神奈川工業高等学校)

優勝者の松本さんは高校3年生のため卒業となりますので、2位の野口さんと3位の今村さんのお二人が、関東甲信越高校生溶接コンクールの神奈川県代表選手になります。神奈川県が3年連続、出場権を獲得出来る様に期待しております。



寄稿記事(溶接女子の活躍)

会員の皆様、ご安全に。神奈川県溶接協会では、これまで66号にて(株)総合車両製作所様、67号にて(株)IHI様と、過去二度にわたり、「溶接女子の活躍」をテーマにした記事を掲載しております。前号にて同テーマの記事掲載募集をさせていただきました。当機関紙にて今後定期的な記事の掲載を目指してまいります。

今回お邪魔させていただいたのは、1920年に創業され、100年以上にわたり船舶及び機械修繕のパイオニアとして走り続けておられる、株式会社横浜工作所様です。

下記は、企業様ホームページの企業情報ページ記載文になります。

「船舶修理の大きな難題と向き合い、技術を磨き続けた100年。

「船舶の救急隊」として、100年企業の技術・設備・経験でお客様の難問を柔軟に解決いたします。」

インタビューさせていただいたKさんは、2023年7月に同社に入社された方です。

服飾専門学校からアパレル系に就職され、その後に縁あって同社に入社されました。取材時に携わっておられる業務内容としては、船舶の外板(がいはん)よりは船の中で使用しているパーツの修繕や、交換に伴うパーツをオリジナルに作成し交換修繕するなどの作業に携わっておられるとのこと。 (溶接・旋盤・切断・研磨等)

就職のきっかけは、ハローワークで「女性に特化した技能職の求人広告」があったこと。通常は職種や年齢枠のみで募集されることが多く、応募をしてよいのか悩むことがあるが、この形式だと女性が応募してよいことが明確でよかったそうです。

もともと手を動かして何かを作ることに興味があり、溶接において、「鉄板を切る、開先を取る、ワイヤを選ぶ、電気調整」などの要素と、服飾での「布を裁断し、糸を選び、ミシンを使って設定して縫う」などの工程とが、ものづくりという観点で、共通する要素を感じるそうです。また、「前職では安い賃金の国に仕事が流れてしまうことが多かったが、船ならここでしかできない仕事がある」とおっしゃっておられたのも印象的でした。(内容はインタビュー当時のものです。)

※今回はインタビューを元にした記事とさせていただきました。寄稿形式での掲載記事も募集しております。



企業様写真



ご本人写真



スタッフの方との談笑写真



フローティング工法を用いた船舶修繕